

主体的な学び・豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【R7学校評価報告書】

【美原区学校群におけるめざす子ども像】
(知)学びを楽しみ、(徳)仲間とのふれあいを楽しみ、(体)体を動かすことを楽しむ美原っ子 ～楽しく3つの調和のとれた児童生徒の育成をめざす～

2026/3/26

堺市立平尾小学校
校長 喜田和彦

【令和7年度 重点目標】
(1)『明日も学校に来ることが楽しみな子』の育成
・主体的に学ぶ子の育成 ～「見通す」「つなぐ」「ふり返る」をめざした授業づくり～(今年度研修テーマ)
・児童相互の交流の充実を図り、自分の考えを広めたり、深めたりできる授業の構築(3年前までの研修テーマ)
・子どもの「居場所と出番」のある教育活動の推進 → 仲間の中で安心して過ごすことができる学校生活の実現
(2)「グループ担任制」の考えを生かした教育活動の実施。(複数で子どもたちに対応していく)
(3) 教職員それぞれの「よさ」や「発案・アイデア」を生かし、平尾小学校の教育をよりよいものとしていけるようにする。
《達成度の評価》 ◎:達成している ○:概ね達成している △:目標に達していない

【主体的な学びの現状】
・全国及び大阪府の学力調査では、国語・算数とも全国平均 堺市平均を下回る結果となっている。
・一方、昨年4年生以上で実施した堺市学調(IKT調査)の結果では、3学年とも、国語、特に算数は、上位・中位評価者が少なく、下位評価者が多い結果となった。その中でも、2年連続してIKT調査を実施した旧5年生では、個人の1年間の伸びについて、全員が国語と算数の両方、もしくはいずれかの教科で成績が向上している結果となった。特に、下位評価者の伸びが著しく、意欲をもって学びに取り組めた結果と考えている。
・実際、IKT調査による「総合学力プロフィール」では、どの子どもも非認知能力の値が高い結果となっている。「学習へ向かう意欲」について、主体的に学ぶ児童の心の動きを大切に学習指導へのアプローチが成果につながっていると考えている。
【豊かな心・健やかな体の現状】
・一昨年からスローガンとしている「友だちとなかよくする」「友だちの力になる」が児童に浸透するとともに、各学級・学年での日々の取り組みや平尾っ子での活動など異年齢の幼児やお年寄りとの交流を通して、児童相互のよりよい関係、相手を思いやる・大切にすることを育ててきていると考えている。
・スポーツテスト結果では、児童数が少ないこともあり、学年間のばらつきは見受けられる。一方、「運動がすき」「外遊びがすき」の項目では、9割以上が肯定的に回答しており、日々の体育の授業の工夫と、学級・学年・委員活動などでの遊びの展開の成果とみている。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include '主体的な学び', '豊かな心・健やかな体', and '地域協働'.

【校長より(年度末)】
・平尾小学校では、令和7年度も、「明日も学校に来ることが楽しみな子」をスローガンに、「主体的に学ぶ」「自ら学びを進める」「友だちと仲良くする、力になる」子どもの育成をめざすことを重点的に、学習、仲間づくり、生徒指導について学校生活の中で1つもの(一体系)として取り組みを進めてきた。
・学校での取り組みを重点化、焦点化することにより、学校全体として心をつなげて教育活動を進めることができた。
・また、それぞれの教員が持つ「よさ」や「発案・アイデア」を生かした学習や取り組み、複数の目で子どもたちに対応していく実践をより多く展開できた。
・校長としては、毎朝全児童に「今日の学習で楽しみなこと、頑張りたいこと」を聞き、主体的に学校生活に取り組む一助としてきた。
・これらを通して、子どもたちは、毎日の学校での活動を楽しみにし、学習へ向かう意欲を大きくするとともに、人と接する体験を豊かに積み重ねることができたと感じている。
【学校関係者評価者から(年度末)】
・「明日も学校に来ることが楽しみな子」をスローガンに、先生方が一致団結して、「主体的に学ぶ力」や「人とのつながり」を育てていくことと尽力していることがよくわかった。
・子どもたちの様子を見てみると、いろいろなことに反応を多くできている。レスポンスを繰り返すことが大事で力を付けていく大きな原動力になる。
・重点的な取組を学校としてはっきりと絞って、それに力を入れて継続した実践につなげていることが、成果につながっていると思われる。